

このページは、小・中学生に向けて小学生によるさまざまな仕事体験を紹介し、記事は梅光学院大学子ども学部子ども未来学科の学生が作っています。

しものせきキッズページ

しものせき環境みらい館で お仕事体験!!



しものせき環境みらい館

今回は、しものせき環境みらい館(古屋町)でリサイクル体験をしたよ!



1月号の参加者(左から右へ)川中小学校6年の藤野莉佳さん、渡邊詢香さん、金子愛和さん、中田朱音さん、玉井夢都さん

しものせき環境みらい館って知ってるかな。ここでは、ごみを出すときの分け方(分別)って言うんだよ、きちんとかみを分別することの大切さを教えてくれているんだ。

みんなの家からもごみは出るよね。下関市では「燃やせるごみ」は赤い袋、「びん・缶」は黄色い袋、「ペットボトル」はピンク色の袋、「プラスチック製容器包装(ごみ)は青い袋」にきちんと分別して出すようになってるよね。他に「燃やせないごみ」や、「粗大ごみ」もあるよね。でも、どうして、ごみを分別して出さないといけないんだろ?

何(なに)が(なに)か(か)な(な)?



ごみは正しく分別をしよう

まずはごみの分別を環境みらい館職員の方野さんに教えてもらったよ。

板野さんのヒントを聞き、みんなで相談しながら実際にいろんなごみを分けてみたんだ。でも分別してとても難しく、例えば、飲み物が入っているペットボトル。ボトル本体はペットボトルごみなんだけど、ふたはプラスチック製容器包装ごみなんだよね。他にも、アイスクリーム。袋はプラスチック製容器包装ごみなんだけど、食べた後の棒は燃やせるごみ。1つの商品でも、いろいろな材料できているから、きちんと分別しないとね。

ごみは生まれ変わるんだ!



分別の仕方は分かったよね。でも分別して面倒くさいなあと、思っている人、みんながきちんと分別してくれば、ごみがまた商品として生まれ変わることもあるんだよ。

プラスチックは石油できているから、再利用しないと石油もいつかなくなっちゃうよね。紙だって木でできているから、どんどん使っていていってしまったり、木が完全になくなっちゃう。そうならないように、ごみを再利用して、資源を節約しながら生活することが大切なんだ。



編集委員
友塚菜月さん(左)、
原田知佳さん(右)

環境みらい館では、フリーマーケットや、いろいろな講座が開かれています。みんなもぜひ行ってみてね。



「4R」が大事なだって。

みんな、面倒くさがらずに、「4R」を意識しながら生活していきたいね。

ごみを減らす「リデュース(reduce)」、ごみを再利用する「リユース(reuse)」、ごみをまた使えるようにする「リサイクル(recycle)」、不要な物をもらわないようにする「リフューズ(refuse)」の「4R」が大事なだって。

豊かな地球で暮らすには?